

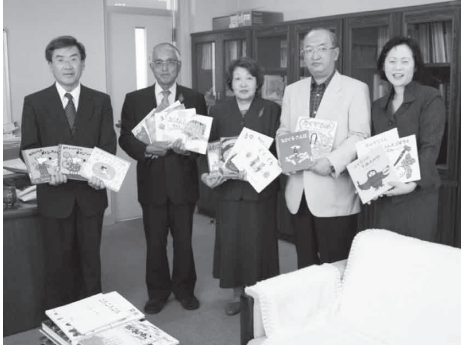
石塚医院より絵本の寄贈

10月5日、教育長室において「石塚幼児文庫」の贈呈式が行われました。

これは、石塚医院（石塚尋朗院長）より、「園児達に優れた絵本とふれあい、豊かな人格を形成していただきたい」と、平成17年度から町内全幼児施設に絵本を寄贈していただいているものです。

今年度は、52冊の絵本をいただき、各園において、早速午睡前や降園前の読み聞かせに活用させていただいております。また、園児達も身近にある絵本を自然に手に取り、親しむ姿が多く見られるようになりました。

この度のご好意に対し、紙上より厚く御礼申し上げます。



石塚尋朗院長（右から2人目）と石塚ミフユプランナー（右）

町をきれいに 環境美化活動

9月25日、田村たばこ販売協同組合女性部（部長緑川セイ子さん）のみなさんが、小野新町駅から小野町役場までの清掃活動を行いました。

これは、地域奉仕活動の一環として実施されたもので、当日は20名が参加し、1時間30分にわたりごみを拾いました。



参加者のみなさん

ふるさと小野町会 ふれあい通信

ふる里は遠きにありて

思うもの

郡 司 勇

（飯豊出身・東京支部）



山に兔を追い、川に小ブナを釣りし郷里を出でて四十有余年。秋祭りの清水朝子一座の『国定忠次』忘れ難く（チヨットオーバー）、新劇なる劇団、東京芸術座に入座し、制作（プロデューサー）の仕事に就いて、三十有余年になります。全国を股に掛けるのどさ回りでは、遠き日に、小野高でも公演を致しました。昨年田高、船高でも演らせて戴きました。昔は「河原乞食」と蔑まれていたようですが、現在は「演劇芸術家」と呼ばれ、人々に夢をばら撒いています。

加齢と共に、幼き日に遊ん

だ山や川が懐かしく思い出され、冬場のタッペ滑りや竹スキー、夏場は小川を堰止めての水遊び。学校行事では、イナゴ採り競争や落探り競争。一等にはなれなかったが、ノートや鉛筆を貰ったつけ。当時は農業も子どもにとってはお祭りみたいなもの。部落総出の「結い」も今では死語になってしまったかな。

そうそう、旧正月だったか「カサドリ」。生まれの干支と年齢と男か女かを書いた紙を竹の箒の中に入れ、それをよその家の入り口に置いて、戸をドンドンと叩き、急いで身を隠す。すると当家の人が出て来て、箒を持って戻り、囲炉裏端で家族が集まって、歳を書いた紙を見てこれはどこぞのセナだとか、あそこのバッチだとか賑やかに人物当てをする。中には隠れたのを見つかって水ぶっ掛けられたのもいたつけ。でもだいたい箒の中に餅や蜜柑を入れて返してよす。

そのふる里を思うだけでも、心が豊かになってきます。時代と共にふる里の外観は変わっていくでしょうが、我が心のふる里は永久に不変です。

小野町・田村市母子寡婦福祉会合同研修会・クリスマス会に参加してみませんか

小野町・田村市の母子寡婦福祉会では、育児や仕事関係の様々な人間関係などで受けるストレスを、身体リラクゼーションにより上手に解消する方法を学ぶ研修会や、お友達づくりも兼ねたクリスマス会を開催いたします。当日は託児も行いますので、お気軽にご参加ください。

▼日時

12月9日（日）

午前10時～午後2時30分

▼会場

田村市船引就業改善センター

▼内容

●身体リラクゼーション講義

●親子クリスマス会

▼対象者

小野町及び田村市在住の母子及び寡婦の方

▼参加料

大人のみ300円

▼用意するもの

エプロン・バンダナ

※お子様ののみ

▼参加申し込み期限

11月22日（木）

▼申し込み・問い合わせ

小野町社会福祉協議会

☎72-6866